

--- 市民芸術祭・みどころ（1） ---

「のぞき見 ふるさと万華鏡」

「のぞき見ふるさと万華鏡」公演実行プロジェクト

ここ狭山の地は、縄文時代より人々の生活の場所でありました。『のぞき見ふるさと万華鏡』は、狭山の歴史・文化、この地を支えてきた人々の血と汗と心の躍動を、爺さん婆さんの昔語りを通して、祭囃子・伝説・歌・民話・民謡と形を変えて表現しております。

祭囃子の音色が、五穀豊穡の願いを込めて三百年も前から大地に、人々の心に響き、市内各地域に語り継がれてきたお話には、日々の生活に関わる祈りや未知への畏敬が込められています。

「豆まきの晩に不老川の橋の下で一晩過すと、歳をとらない」と言われている不老川伝説。「二十三夜さまは、信仰の心を広めようと川を下りました…」と。

子供の頃より口ずさむ「わらべ歌・童謡」は、豊かな感性を育み、また文明の利器などなかった時代、「民謡」は、人々の肉体を支える労働歌として、時には祈りに、元気や勇気、調和や協力を生み出し、深く生活に関わってきました。

「不老川のうた」「狭山ふるさと音頭」には、狭山の歴史や文化を大切にする地域の人々の熱い想いが込められています。

（責任者 大野 美津代）

第6回・狭山市民芸術祭：<http://blog.livedoor.jp/art2006/>

「伝統文化子ども教室」に取り組んで ～狭山市三曲連盟～

7月23日(土)、小学3年から中学3年までの男女22名の参加を得て、「ジュニア邦楽教室」はスタートしました。皆初めてふれる箏・三味線。私には見慣れた楽器がいつもより大きく見えました。

回を重ねるごとに力強い音色が響き、表情が生き生きして音楽の楽しさが溢れ出てきました。こんなにすばらしい宝が眠っていたのかと驚かされる毎回の練習です。

10月30日(日)の三曲連盟定期演奏会には、一人も欠けることなく全員舞台上に上がりました。会長の「あなた自身が世界にたった一人の大切な人なのです。本番では自分を信じて皆を信じて心を合わせて演奏しましょう」と、その言葉通り「世界に一つだけの花」を立派に演奏し、たくさんの拍手をいただきました。子供の可能性には驚くものがあります。

子供たちが、やれば出来るという本物の自信を持つ体験が出来るよう、また、邦楽に愛着を持つ大人になってもらうべく工夫をしながら、充実した事業を進めています。

「また来年も続けたい」という子供の言葉に後押しされ、子供たち全員が「やった！」と笑顔で終われるよう、最後まで一緒に進んで行こうと思っています。

（狭山市三曲連盟 清野 芳子）



平成17年度 賛助会員の紹介（6）

（有）ニヤ調剤薬局

あなたの健康に奉仕する

狭山市入間川3 - 3 - 19 : 2952 - 2222

（有）横田園

くつろぎの時間、狭山茶

狭山市沢12 - 5 : 2959 - 6308

（株）入間川水道建設部

清潔な家庭は 水まわりから

狭山市入間川3 - 25 - 2 : 2954 - 2841

新吉田

鮎、出前

狭山市入間川3 - 3 - 17 : 2952 - 2371